林業技術センターにおける平成２０年のヤマブドウ糖度上昇経過

１　はじめに

ヤマブドウの収穫は糖度を基準に行われることが多いことから、いつ頃基準糖度に達するか予測ができれば、出荷開始日の計画を立てることができ、取引上有益と考えられます。

糖度上昇予測のためには、開花日からの積算温度等のデータを、実際の糖度上昇経過と照らし合わせていくことが必要と考えられます。

そこで、糖度予測式を作成するために、当センターヤマブドウ栽培試験地における涼実紫１号、２号、４号、５号の開花日と糖度上昇経過を調査しましたので、報告します。

２　調査方法

林業技術センター内ヤマブドウ栽培試験地において、５月下旬から６月上旬にかけてほぼ隔日で開花確認を行い、９月２日から約７日毎に１０月２１日まで糖度測定調査を行いました。

糖度調査に当たっては、調査用の果実は、偏りが少なくなるように１樹の上下左右中央及び表側裏側それぞれから１０房選び、それぞれの房の上部と下部から１粒ずつの計２粒、合計２０粒を採取しました。

採取の後に２０粒ともビニール袋に入れてまとめて潰し、得られた果汁を糖度計で測定しました。

なお糖度測定に用いたのは所内原種園の糖度測定可能なものとしたため、涼実紫１号は７樹、同様に涼実紫２号は８樹、涼実紫４号は６樹、涼実紫５号は８樹です。

３　結果

開花時期

平成２０年は５月２６日からヤマブドウが咲き始め、６月５日には調査した全てのヤマブドウで開花を確認しました。涼実紫２号が一斉に開花したのに対し、涼実紫５号では五月雨式に開花していきました。（表）

表　開花が確認されたヤマブドウ樹本数の推移

開花調査日＼涼実紫	１号	２号	４号	５号
５月２３日	０	０	０	０
５月２６日	５	８	５	３
５月２８日	６	８	６	６
５月３０日	８	８	６	７
６月５日	８	８	８	８

糖度上昇経過

一般に知られているように、ヤマブドウが着色する時期にはまだ糖度が充分上昇していませんでした。（写真）

写真　ヤマブドウ（涼実紫２号）の着色経過

平成２０年の糖度上昇経過（各品種の平均値）を見ると（図）、涼実紫１号、２号、４号では１０月２１日までに概ね糖度１４度以上に上昇したのに対し、涼実紫５号では１０月２１日時点でも１１度程度でした。この糖度上昇経過は平成１８年の調査結果と類似していました。（成果速報№.２４３参照）

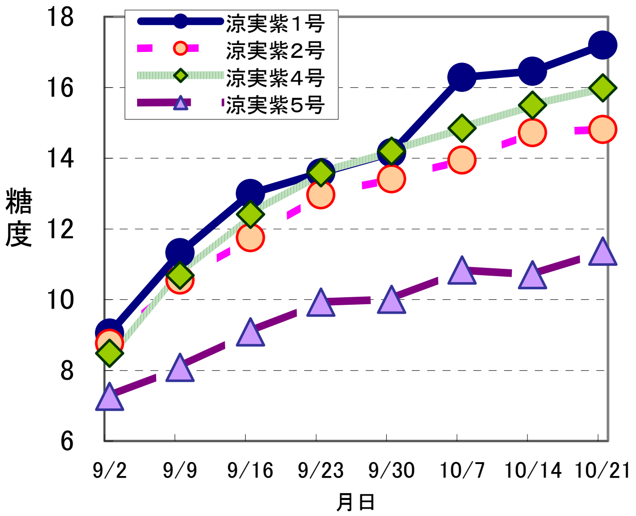

図　ヤマブドウの糖度上昇経過

（担当　研究部　主任専門研究員　菅原誠司）

連絡先	〒028-3623	岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第 3 地割 560 番地 11 岩手県林業技術センター ホームページアドレス：http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/	Tel 019-697-1536 Fax 019-697-1410